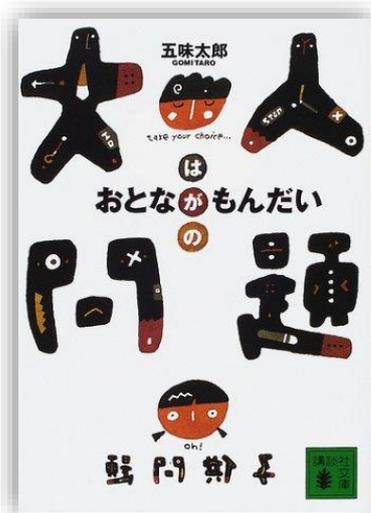




# いきいき弥小っ子

## 「大人問題」～がんばりましょう！～

弥彦小学校 校長 石黒和仁



「大人問題～大人は・が・の問題～」は、五味太郎さんの絵本です。「子どもは・が・の問題」と思っていたら、実は、世の中は「大人は・が・の問題だった」、という内容です。「大人」とは、私を含めた皆さんのことになります。「未来を生きる子どものために、大人としてがんばりましょう！」という少々耳の痛い話を二つさせていただきます。

新潟日報 11月30日付け  
朝刊に掲載されました

### ①「家読（うちどく）」の継続

先週末まで読書旬間でした。弥彦絵本の会の方々による「読み聞かせ」「人形劇」「昔話」、燕市立図書館職員による「ブックトーク」、図書委員会による「図書ビンゴ」、本に描かれた食べ物が出る「ブックコラボ給食」、そして「家読（うちどく）」と、様々な活動に取り組みました。この2週間（10日間）の貸出冊数（3年生以上）は1,278冊で、旬間前の10日間と比べて27%の増加だったとのことです。読書習慣の高まり、うれしい限りです。ご協力、ありがとうございました。

読書の意義は誰もが認めることです。ぜひとも、子どものために、ご家庭で読書する習慣（家読）を継続してください。大人が、本を読む、読んで聞かせる、読む時間や場所をつくる、図書館や本屋に行く等をしてください。

### ②テレビやゲーム、動画はルールを決めて、ほどほどに

30日（土）に弥彦村教育フォーラム「メディアコントロールを考える」がありました。役員さん以外の参加者が少なかったことが残念でしたが、参加した誰もがたくさん学ぶことができた研修会でした。ゲームやスマホの使用については、やはり、フィルタリングをかける、使用（通信）できる時間を設定する、ルールを決めて守ることが大事であるとのことでした。また、大人よりも子どもの方が詳しい（逆転現象）ため指導が難しい、子どもの問題と思っているが大人の方が問題である、とも。特に後者が強く心に残

りました。私も、だらだらとテレビや動画を見てしまうことがあります。家族や友達と過ごしていてもスマホをいじってしまうことがあります。猛省。

大人によるSNS関連の事件は後を絶ちません。また、ながら運転の罰則が強化されました。まずは、大人がスマホ等のルールを守り、適切な利用をしなければなりません。その上で、子どものために、安易にゲーム等を与えたり使わせたりすることなく、使用のルールを決め、心を鬼にして、守らせていきましょう。

\*長時間ゲーム→ゲーム障害→学校や仕事に行けず→引きこもり→・・・が悪い流れのようです。

「しょうがい ない ゲーム障害」 石黒作・研修会の折に考えた川柳もどき

「弥彦小学校のいいところ五つ目！ 設備が充実している、伝統ある校舎！」だったよね。それなのに…。～12月全校朝会での話～

手洗い用薬液ボトルの破損があり、壁についた足跡や落書き等と合わせて指導しました。実際の写真を提示しながら「とても残念です。こわれてしまったことが。きずつけられてしまったことが。そのことを、だれも言ってくれなかったことが。」と訴えました。そして、「校舎を大切にしていこう。きまりを守っていこう。もし、ものをこわしたり傷つけたりしたらすぐにあやまろう、という気持ちになってほしい。」

「弥彦小学校のいいところを大切に守って、もっとよい学校を目指しましょう！」と話を終わりました。



新しくなった中学年棟

なお、村教委とも相談し、規範意識を高めるためにも、今後、意図的もしくはルール違反の使用等に因る破損等は、修理弁償を求めさせていただくこととしました。子どもにもその旨を話しました。ご承知おきください。

### 【問題集の購入と活用のお願い】

年度当初の計画では、冬休み用や春休み用として問題集を購入・活用を計画していた学年もありました。学習内容の確実な理解と習得を図り、1月末実施予定の標準学力検査に備えて、全ての学年で、学年費より1年間のまとめの問題集を購入させていただきます。取り組み方については学年だより等でお知らせします。ご理解とご協力をお願いいたします。

(文責：高校時代に新潮文庫の100冊に挑戦したものの20冊ほどで挫折した、

デジタルゲームよりも実際に体を動かすゲーム(スポーツ)が好きな石黒)